



大樹のこころ

オカザえもんが、やって来た

岡崎市のゆるキャラ・オカザえもんが来校しました。オカザえもん生誕10周年を記念して、市内の小学校10校の4年生を対象とし、図工の絵を募集して一つの紙芝居のような物語にするという企画です。これも来年の大河ドラマ「どうする家康」に絡め、岡崎の魅力を発信しながら、子供たちの岡崎愛を育てていきたいというねらいがあるとのこと。実に夢のある企画です。

オカザえもんが校内に姿を現したのが、ちょうど昼放課の時間。遊びに夢中だった子供たちも、オカザえもんを見つけると、彼に向かって殺到します。「すご〜い」「背が高い」などと言いながら、オカザえもんはあっという間に取り囲まれてしまいました。その人気はすさまじいものがあります。

さあ、肝心の図工の授業です。オカザえもんが4年生の教室に入ってくると、子供たちから大きな歓声が上がりました。子供たちが描くのは、物語の一場面。それぞれくじ引きで引き当てた場面の絵を担当します。「怒っている男の人」「ラーメン」「八丁味噌の樽」など、お題は様々。これらの絵が一枚一枚つながって、大河ドラマのような紙芝居になるらしい。子供たちは、希望に胸を膨らませながら、ペンを用紙に走らせていきます。オカザえもんは、机間巡視をしながら子供たちを励ましていきます(とは言うものの、オカザえもんは話せない)ので、ジェスチャーや筆談で伝えるのですが…。

この様子をチャンネルミクスが取材していきます。テレビカメラが教室に入ると、テンションが上がりすぎるか委縮してしまうものですが、本校の子供たちは「普段通り」です。盛り上がる場所は盛り上がりますが、絵を描く作業になると集中します。市役所の広報課の方が、こうした子供たちの姿を見て「大樹寺小の子供たちは素晴らしいですね。元気もあるし、切り替えが早いです」と褒めてくださいました。嬉しい限りです。

子供たちが描いた絵は、他の学校の児童の絵と交え、ナレーションや音楽も入れて動画になるとのことです。完成は10月ごろ。早く観たいという気持ちでいっぱいです。このような企画に参加できたことに感謝しています。ありがとう、オカザえもん!



本日の模様が、チャンネルおかざきの「タウン通信」で放映されます。日時は以下の通りです。

6月22日(水) 19:30~

6月24日(金)にはNHK「東海ドまんなか! LIVE」で19:30より、本校の家康学習が紹介されます。こちらもお忘れなく。